初版のはしがき

大正13年(1924)富山大学の前身富山高等学校にラフカディオ・ヘルン（ハーン）小泉八雲の蔵書 2,435冊が馬場はる子夫人によって寄贈されてから、早くも満35年の年月がたった。このヘルンの蔵書がヘルン文庫と呼ばれるもので、その目録は昭和２年(1927)にできている。この35年の長い間、このヘルン文庫には内外多数の訪問客を迎え、その中にはアメリカのマクレランド夫人のように、３日間もここに通って研究された方もある。一方に、本学の学生諸君にとっても、ここにヘルン文庫がありという自覚は、その研学にとっても大きな刺激となったことと信じる。

このヘルン文庫を活用する方法はいろいろに考えられることであろうが、その一つはヘルン関係文献をできるだけ集めて学徒の参考に供することであろう。しかし、これを徹底的とは行かなくても、ある程度まで集めるとしても、それは専門の係員を常置しなければできないことで、なかなかむずかしい。一方に、いくら関係文献が集まっていても、その整理に工夫がこらされていなかったならば、十分な効果をあげることはできないと考える。

そこで、集まっている関係文献の数は少ないけれども、これを十分に利用できるように整理してみたら、整理されない多数の文献よりもかえって効果をあげることができるであろう。また、これによってどういう、あるべき文献がないかということも明らかになるであろう。

このような趣旨で本学の図書館にあるヘルン関係文献を整理し、多少の新文献を加えて、それをできるだけ利用できるように解説をつけたのがこの目録である。

これによって、本学内のヘルン研究または広く文学語学その他の研究の参考になることができれば幸いである。また、一つの新しい試みとしてのこの目録について大方の御叱正をあおぐことができれば大きな喜びである。

１９５９年（昭和３４年）８月１５日

富山大学附属図書館長　　平　岡　伴　一